

# 蔵前工業会大阪支部 2023 年度事業報告

一般社団法人蔵前工業会大阪支部は、蔵前工業会関西地区活動の要としての役割を認識し、支部事業並びに関西5支部の共同事業を企画しました。しかし、2023 年度はコロナウイルス感染拡大防止も規制が緩和されたために集会・会合・イベント等を徐々に従来の開催に戻してきました。

「支部総会」は事前のメールで欠席者の議決行使を集計し、その結果と実参加を纏めて4年ぶりの対面での議事を行ない、見学会、懇親会も開催しました。役員会は Zoom 会議を中心に他支部総会や講演会へ、オンライン参加も含めて交流を続けました。会員を主対象とする「関西蔵前午餐会」、「関西蔵前懇話会」、「俳句会」の交流活動は、社会状況に合わせて参加人数を考慮して「西日本センター」での開催を適時に増やし、実参加とWebでの会員の交流深めるように運営いたしました。

1. 本部関係：本部総会(6月8日);本部事務局長辻野が退任し、後任に前村好士(神奈川県支部)が就任した。
2. 支部事業

(1)大阪支部 2023 年度総会 : 2023 年 5 月 27 日(土)(13:00~16:00) 大和文華館(奈良市)、参加者:26 名、

① 2022 年度の事業報告(大軒幹事長)、収支決算報告(三宅会計幹事)監査報告が有った。

<審議事項>

② 2023 年度事業計画案(大軒幹事長)、2023 年度予算案(三宅会計幹事)が審議され、出席者全員の賛成(27名)で承認された。

<見学会>「大和文華館 5 月の特別展」 学芸員の開設で中国、日本を中心にオランダのデルフト、ドイツのマイセン等の陶磁器を観賞しました。

<来賓挨拶>

- ・ 東工大 益学長(東京医科歯科大との統合、東工大の挑戦;女子枠の導入・国際卓越研究大学他の講演)
- ・ 蔵前工業会 田村業務執行理事(就職活動支援、蔵前バーチャルプラザ、東工大オンラインコミュニティの紹介)

(2) 大阪支部役員会 : ・第1回(4月15日);参加者14名

支部総会5月27日の日程及び議案の確定、見学会他の決定。

・第2回(7月8日);参加者13名、

2023 年度本部総会報告及び、第36 回関西蔵前講演会の報告が行なわれた。

・第3回(10月28日);参加者11名、2024 年度総会の日程を2024 年5月25日に決定した。

・第4回(2024 年1月27日)参加者17名、

以上4回を開催し、支部活動、並びに広域活動の行事報告、行事計画の紹介・審議・決定した。

(3) 関西5支部ホームページにくらりか関西のページを開設し、蔵前ジャーナル投稿等を通じて、広報活動に努めより多くの会員が諸活動に参加しやすい易いよう働きかけた。

(4) 他支部主催の行事への参加により近隣支部との交流をはかった; ・兵庫県支部総会・講演会(4月8日)、

・京滋支部総会・講演会(6月4日)、和歌山県支部総会・講演会(7月13日)、岡山県支部総会・講演会(9月3日)、徳島県支部総会・講演会(11月25日)に実参加した。

### 3. 関西5支部広域事業

(1) 第36 回 関西蔵前講演会:4月22日(土)中央電気倶楽部(会場)の実参加と、Zoom ウェビナーを使用してハイブリッド方式にて開催し、115名の参加登録が有り、実参加56名(大阪支部26名)、懇親会37名で有った。

(2) 関西蔵前午餐会 : 4月以降は毎月開催してきた。

(3) くらりか関西:6月以降の理科授業・理科実験教室はコロナ禍以前に戻り、大阪市・茨木市での理科特別授業に参加して、感染防止に則した環境で45教室を開催した。

(4) 関西蔵前懇話会 : 会員又はゲストから話題提供を受け、懇談・情報交換・人脈形成・親睦を目的に本年度は4回(6月、9月、11月、2月)を西日本センターで Zoom 参加とのハイブリッドにより開催した。

(5) その他同好会行事として : ・ゴルフ会、・俳句会、・テニス会等が開催された。